

自主貢献

あいきつは あふれる笑顔の あいことば

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikidai/>

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 令和2年12月1日(火)

発行者 学校長 古木 喜雅

所在地 神奈川区西寺尾三丁目10番1号

電話 401-3644 FAX431-0244

クラスハンドタオル完成

副校長 綿貫 芳人

クラスのハンドタオルが完成しました。今年度は、通常の形での体育祭が中止となり、クラスの団結の象徴であるクラス旗がありませんでした。そんな中、特活指導部の先生たちが中心となり、何か替わりになるものがないかと考え抜いたものが「クラスハンドタオル」です。10月に学級委員会で提案され、各クラスでデザインを考案していきました。コンセプトは、『クラスのシンボルとなる「一期一会の宝物」を作る共同作業を通して、クラスの団結を深める』です。「今年度だからできなかった」ことが相次いでいる中、「今年度だからできた」というポジティブな取組です。絵やデザインが得意な人に任せて終わりというのではなく、完成までにクラスの一人ひとりがこの企画に何かしらの関わりを持つことも大切にしてきました。この取組を通して生徒たちに少しでも希望や勇気を与えたいという先生方のメッセージが届くと嬉しいです。一人ひとりが「一期一会の宝物」を手にした時の顔を想像すると今からわくわくします。「宝物」がみんなの元に届くのは、12月下旬の予定です。最高のクリスマスプレゼントになることでしょう。

これからは、技術革新が急速に進み、GIGAスクール構想（生徒に、1人1台のPCと高速ネットワーク環境などを整備する計画）などに象徴されるICTの活用の推進が行われていきます。しかし、その土台になるのは、人と人のつながりです。人と人が信頼し合い、つながることの大切さを伝えていかなければいけません。今回の「クラスハンドタオル」の取組は、そのための種まきといってもよいかもしれません。今だからこそ私たち大人は、生徒たちに望ましい姿を手本として示しながら、たくさんの種まきをしていきたいものです。以下は、各クラスの「宝物」です。学校HPで、カラーでご覧いただけます。

(学校ホームページの「学校日記」からご覧ください)